

# 湖南省防災士連絡協議会情報提供委員会第2回会議議事録

日時 令和4年7月21日 19時～  
場所 サンライフ甲西 1F大会議室  
作成 喜多

## 出席委員

喜多(緑ヶ丘),立入(柑子袋),南(岩根西),太田(三雲),笠井(岡出),大平(北山台),福澤(中央),望月(団地中) 以上8名 (欠席連絡なし4名)

## 協議内容

### 事業進捗状況

地区防災計画作成支援および作成呼びかけ

・当委員会で作成した「地区防災計画をつくりましょう」を7月に全区長さんに配布済み。同じものを8月の幹事会で各幹事に配布する。

・地区防災計画未作成区から作成支援依頼は今のところないが、今後依頼があれば対応していく。

防災士が選ぶ「非常時持ち出し品リスト」および「備蓄品リスト」の選定

・前回の幹事会でご意見をいただいて、持ち出し袋の中身のリストの選定はできた

・実際に予算で購入した持ち出し袋を何らかの形で、市民に展示できる方法があれば

防災士インタビュー(年3人予定)

・第1回目は菩提寺学区から、みどりの村区防災士「川上 昭様」に依頼し原稿はできた。8月にホームページ掲載予定

・第2回目は岩根学区から、岩根西区の防災士に依頼する予定

防災士目線での「湖南省版 在宅避難の手引書」リーフレット作成

・たたき台を委員長が作成済み、委員にみていただいて、次回9月の委員会で意見を集め、作り上げていく予定

## 意見

・「地区防災計画をつくりましょう」は毎年か、区役員が入替えになる2年に1回か、区長に渡してはどうか。入替えのたびに計画作成の気運をあげていくべきでは。

・非常時持ち出し品リストの選定で、前回の幹事会でご意見をいただいた、蛍光リング(お祭りなどで子供がつけているもの)と紙石鹸を付け加えた。

・実際に持ち出し袋を背負ってみたら、中身の多さの割には軽い感じがした。

・各まちづくりセンターに、今回選定した持ち出し袋と同じものを購入してもらって、展示をしてもらったらどうか。

・防災士インタビューは、湖南省広報に、防災士インタビューをしてきました。詳しくはこのQRコードで、みたいな形で小さい記事の確保をしてもらってはどうか。

・防災士インタビューは、やはり読み物として面白いものでないと今後も読んでもらえないので、面白いものになるようにしかけが必要では。

・「在宅避難のすすめ」は「すすめ」としていると、災害時なにがなんでも家にいたらよい、との誤解をまねくため、「在宅避難の手引書」としたらどうか。

・南海トラフ地震で湖南省での予想は震度6強が最大で、ほとんどのところが震度6弱と想定されている。昭和54年以降の新耐震基準を満たした家屋は、ほとんどが大丈夫かと想像できる。全壊、半壊でない限り在宅避難は可能かと思われる。

・自分の区では、震度5以上であればとにかく家の中から外へ避難するように決めている。家にもどってよいかどうかの判断は、余震等もあり、区の防災役員で判断することになる(が難しい)

・完成したリーフレットは、市内に全戸配布してはどうか。

## 2022年度情報提供委員会活動計画

| 時 期              | 内 容                              |
|------------------|----------------------------------|
| 2022年5月～2023年3月  | 地区防災計画作成呼びかけ及び作成支援               |
| 2022年5月～2022年9月  | 防災士が選ぶ「非常時持ち出し品リスト」及び「備蓄品リスト」の選定 |
| 2022年7月～2022年12月 | 防災士インタビュー(8月,10月,12月掲載)          |
| 2022年7月～2022年12月 | 防災士目線での「湖南省版 在宅避難のすすめ」リーフレット作成   |

次回、情報提供委員会 令和4年9月22日(木) サンライフ甲西 1F大会議室